



坂井 音雅



高井 松男



三宅 右近

能

紅葉狩

鬼揃

昭島古式新能



狂言 附子

2016年9月23日(金)

【会場】KOTORIホール(昭島市民会館)前庭
※雨天時は大ホールで行います。

【開演】午後6時 【開場】午後5時15分

【入場料(全席指定)】

S席:5,000円 A席:4,000円

6月25日(土)発売開始

※小学校入学期のお子様のご入場はご遠慮ください。

【チケット取り扱い】

- ◆KOTORIホール(昭島市民会館) 042-546-1711
休館日(火曜日)を除いて、午前9時から午後5時まで窓口で販売いたします。
電話申込は発売初日に限り、午後2時からとなります。
- ◆昭島市 三ツ矢文具店 042-544-3280
- ◆福生市 西多摩新聞社 0120-61-3737
※発売時間は店舗によって異なります。
※ご購入(ご予約)いただいたチケットのキャンセルはできません。
- ◆チケットぴあ 0570-02-9999 Pコード 451-951

【お問い合わせ】

KOTORIホール(昭島市民会館) 042-546-1711
(JR青梅線昭島駅北口より徒歩6分) ※火曜日休館

【主催】昭島市民会館文化事業協会・昭島市

【後援】(順不同)

昭島観光まちづくり協会 昭島市商工会 昭島市自治会連合会
昭島市老人クラブ連合会 昭島市勤労市民共済会 昭島市文化協会
昭和の森芸術文化振興会 昭島・横田友好クラブ
昭島市シルバー人材センター 東京昭島ロータリークラブ
東京昭島中央ロータリークラブ 昭島ライオンズクラブ
国際ソロプチミスト昭島 昭島青年会議所 昭島青年経営者クラブ

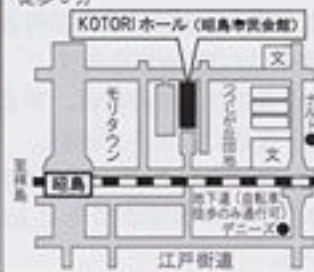
【制作協力】

Sap 舞台芸術プロジェクト

株式会社カロン

※公演当日の会場確認については、当日午後2時以降に
昭島市のホームページでもご確認ください。

JR青梅線「昭島駅」下車 北口より
徒歩6分



昭島古式薪能

番組

本日の舞台について

解説 旅川 雅治 他

狂言(和泉流)

附子

太郎冠者 三宅 右近

主人 三宅 右矩

次郎冠者 三宅 近成

後見 前田 晃一

備 金田 弘明

能(親世流)

女・鬼女 坂井 音晴

女・鬼女 武田 祥照

女・鬼女 武田 宗典

女・鬼女 坂井 音雅

紅葉狩

鬼揃

平維茂 高井 松男

大鼓 柿原 弘和

太鼓 小寺 真佐人

小鼓 田邊 恭資

笛 栗林 祐輔

太刀持 大日方 寛

勢子 御厨 誠吾

勢子 則久 英志

女 三宅 右矩

武内神 高澤 祐介

後見

坂井 音隆

地謡

武田 崇史

長山 桂三

浅見 慈一

高梨 万里

馬野 正基

ワキ後見 梅村 昌功

○古式薪能とは○

日本全国で開催されている薪能は、現在三百箇所以上。その殆どが電気による舞台照明と音響を駆使し、大多数の観客動員を以ての開催です。昭島古式薪能は、演者の肉声と生の楽器の音が観客に届くような観客席の設定、舞台照明には篝火と蠟燭を基調にするために、電気による照明・音響を極力避け、演者の本源を最大限に引き出そうとする、他の薪能とは一線を画す企画です。

○演目の見所○

和泉流 狂言

「附子」

あるお屋敷のご主人は、太郎冠者と次郎冠者の二人の召使いを呼び出し、手桶を二人の前に置くと、この中に「附子」という猛毒が入っているの、気をつけて番をするように言いつけ、出かけて行きます。

留守番を言いつけられた二人は、その毒気に当たっただけで死んでしまうという「附子」を、なんとか一目見ようと、あれこれ工夫しながら蓋を開けると、そこには黒いどんまりとしたものが入っていました。太郎冠者はこれを見ると、一口食べてみたいと言いつけ出し、次郎冠者が止めるのを聞かずに「附子」に近づいて行きますが…。

親世流 能

「紅葉狩」

戸隠山に狩猟に出かけた平維茂は、山影で酒宴をしている美女たちに誘われ、美酒に酔い眠ってしまいます。それを見すました美女は鬼女に変化する。その時、維茂が信仰する男山八幡の末社、武内神が夢枕に現れ、護身の太刀を手え、眠りを覚ます。目覚めた維茂は襲い来る鬼女達と激しく切り組んで戦い、終には鬼女を退治する。今回の特殊演出の鬼揃えは、鬼女が四人出て、華々しい切り組み場面が見所。因みに、この戦いの場は、戸隠荒倉山の附子の平と伝わっている。

坂井 音雅 (さかい おとまさ)

親世流シテ方
昭和49年生まれ。
坂井音重の長男。
父及び26世宗家親世清和に師事。
東京、神奈川、沖縄を中心に全国各地にて活動中。
慶應義塾大学能楽部、共立女子中学・高等学校能楽部の指導にあっている。
その他カルチャーセンター等、舞台のみならず能楽の普及・発展の為に活動している。

高井 松男 (たかい まつお)

1948年生まれ。ワキ方室生流。
故室生弥一、故室生閑に師事。
(社)日本能楽会会員。
重要無形文化財総合指定保持者。
新作能『兼続』(NHK 大河ドラマ「天地人」主人公・直江兼続)原作者。
新作狂言「くじら」作者。

三宅 右近 (みやけ うこん)

昭和16年生。九世三宅藤九郎(人間国宝)の次男。父に師事。
重要無形文化財総合指定保持者。日本能楽会および能楽協会会員。
4歳「桑山伏」で初舞台。20歳で「釣狐」、23歳で「花子」を抜く。
初の試みである「日本ろう者劇団」による手話狂言の指導は25年以上にわたっている。

スタッフ

舞台監督 鈴木裕子
助手 鈴木麻依子
照明 篠原清明
音響 角当直行
プロデューサー・副演出 旅川雅治

2016年9月23日(金)

【開演】午後6時

【開場】午後5時15分

【会場】KOTORIホール前庭
(昭島市民会館)

※雨天時は大ホールで行います。

